



校訓『誠健勤和』

富良野西中学校

《学校だより》

令和2年12月25日

12月号



にこやかに笑顔で

校長 大場 八 仁

記念すべき第70回学校祭を、12月18日（金）文化会館で開催しました。

合唱コンクールは、マスク着用でしたが涙が出るほど感動する合唱ばかりでした。生徒の合唱には、コロナ禍ではあってもそれに負けない生徒の団結力など、底知れぬ力を感じることができました。

今学期、生徒は多くの困難を乗り越え、また大きく成長しました。人生はいつも順風満帆とは限りません。困難への対応も良き経験とさせながら「笑顔あふれる学校」を続けていきたいと思ひます。

オアシスの老人

二つの大きな町の間にあるオアシスに、一人の老人が座っていました。
 そこを通りかかった男が老人に尋ねました。
 「これから隣町に行くのですが、どんな町ですか？」老人はこれに答えずに聞きました。
 「今までいた町はどんな町だった？」男はしかめっ面をして、「たちの悪い人間が多い、汚い町です」と答えました。
 老人は答えました。「お前がそう思うなら隣の町も、たちの悪い人間が多い、汚い町だよ」と。
 しばらくすると、さっきの男と同じ町から別の男がやって来ました。その男はさっきの男と同じことを老人に尋ねました。老人はやはり答えることなく聞きました。「今までいた町はどんな町だった？」
 男はにこやかに答えました。「親切な人が多い、きれいな町です」
 これを聞いた老人は、「お前がそう思うなら、隣の町も親切な人が多いきれいな町だよ」と、男に言いました。

上の『オアシスの老人』は、アラブの国に伝わる民話です。
この民話について、ある本に次のような紹介がありました

二人の男は同じ町で暮らしていたはずなのに、町に対する印象が全く違いました。町は、いろいろな人や物が集まりできているので、当然いいところもあれば悪いところもあります。二人の男の違いは、町のどんなところに目を向けていたかにあります。

最初の男は、悪いところにばかり目をつけてしまい、すぐそばにあるいいところに気づくことができません。それに、しかめっ面で自分の不幸を嘆いているばかりでは、そんな男に親しみをもつ人は少ないでしょう。

一方、後の男は、いいところに積極的に目を向けることができ、いつもにこやかでご機嫌です。今そばにあるものを大切に、ありがたがることができます。当然、周りの人たちもそんな男が好きになり、親切にしてやろうと思うでしょう。

この二人がどの町に住んだとしても、同じ感想をいだくはずでず。

さて、皆さんは、この『オアシスの老人』を読んで、どのような感想をおもになったでしょう。

私は、今年、新型コロナウイルス感染症のため思い通りに事が進まず、イライラして不平不満を口にしていた時期がありました。確かにそんな時期は、人の悪いところばかりに目がいったように思ひます。ですので、この民話を読み「ハッ」とさせられました。

「自分のいる環境の善し悪しは、実は自分のものの見方や態度、行動次第で変えられる」のです。

今年も残り少なくなりましたが、今日からの毎日、積極的に人や周りのいいところに目を向け、いつもにこやかに笑顔で生活していきたいと改めて思ひます。

令和3年のスタートも、多くの制限や制約が予想できます。しかし、いつも周囲に不満をもって生活するのではなく、自分のやるべきことをしっかりと行い、前を向き笑顔で明るい未来を語り生活していきたいものです。生徒の皆さん、そして、保護者・地域の皆様、良い新年をお迎えください。

12月の西中

ZERO 運動月別目標 「互いの良さを認め合おう！」

月別 保健目標 「風邪の予防に努めよう！」

素晴らしい歌声 会場に響き渡る — 第70回学校祭開催 —



12月18日（金）に感染リスクを低減しながら富良野文化会館において、第70回学校祭が開催されました。今年、学校祭テーマ「輝～The Greatest 合show 団～」の通り、合唱コンクールに特化して実施しました。普段の練習は学校で行ったため、文化会館で歌うのは当日がはじめてで、さぞかし緊張したことかと思ひます。しかし、その緊張感を学級の生徒全員が力を合わせることで乗り越え、どのクラスも素晴らしい歌声が会場いっぱい響き渡っていました。感動の一時をありがとう。



1-2



1-1



1-3 (最優秀賞)



2-2



2-3



2-1 (最優秀賞)



3-1



3-2 (最優秀賞)



3学年合唱



3-1



閉会式後の学活の様子

3-2

縦割り合唱

「西中の合唱は、すごい!!!」。12月18日（金）に行われた合唱を聞いて素直にそう感じました。

どの学級も最初から上手だったわけではありません。しかし、最終的には全ての学級が「すごい」と思える合唱になっていました。その上達する理由は、練習の過程にありました。指揮者や伴奏者、パートリーダーを中心に主体的に課題を見つけ、よりよい合唱になるようお互いに意見を交わしていました。そして、何よりも急激に上達させたのが「縦割り合唱」。体育大会の縦割りチームを活用して、1年生から3年生まで合唱を聞き合いました。1、2年生は3年生の生の歌声を聞き、また、素晴らしい合唱を創り上げていくための取組方法を目の当たりにして刺激を受け、その方法を真似て生かしていました。これぞ、西中の伝統をつないでいる瞬間だと感じました。



一分散参観日

12月8日（火）～11日（金）の4日間、各日2学級ずつの分散参観日を行いました。7月に続き、今年度2回目の参観日実施となりました。1回目は学級担任の授業を公開しましたが、今回は担任以外の教科の授業を参観していただきました。特に、1年生保護者の皆様にとっては、はじめて中学校の教科担任制による授業を参観していただく、よい機会になったと思います。

学校では、これからも感染リスクを低減しながら教育活動を参観していただく場を設け、生徒の成長のために学校と家庭、地域との連携を図っていきたくと考えております。



富良野市いじめ・ネットラブル ZERO!メッセージコンクールで受賞

富良野市内から多くの応募があった標記のコンクール。特に、標語は1,000作品以上集まりました。その中から、下記の生徒が各賞を受賞しました。おめでとうございます。

本校は積極的に「ZERO運動」に取り組んでいます。「いじめZERO」は全員の願いです。その願いを叶えるべく、一人一人が「いじめは絶対にゆるさない」気持ちを持ち続けていきましょう。

【中学生 標語部門】
 最優秀賞 「手を出さず 手を差しのべる その勇氣」 環 心愛さん
 優秀賞 「大丈夫? この一言で 救われる」 開発 敬一さん
 奨励賞 「考えて 友人内にも 礼儀あり」 日向 楓花さん

【ポスター部門】
 最優秀賞 中村 瑠愛さん



「中学生の税についての作文」に入賞

12月7日（月）に甲斐富良野税務署長にご来校いただき、本校体育館で「税についての作文」表彰を行いました。今回、受賞したのは、優秀な作文を応募した生徒2名と租税教育の推進に対し長年の功績が認められた教諭1名です。この作文を書くことによって税に対する関心を高め、用途等、税を知るよい機会になったことと思います。

○札幌国税局長賞 「次の世代へと」 田代あかりさん
 ○富良野税務署長賞 「税への意識」 三田 希美さん
 ○富良野税務署長納税表彰 坂田 博昭 教諭



12月 部活動の記録

○卓球部
 北海道中学選抜卓球大会富良野地区予選会 男子団体 優勝
 女子団体 第2位

○女子バレーボール部
 富良野地区中学校選抜バレーボール大会 第2位

○美術部
 第25回小中学生による「安全・快適アイデア」コンテスト 奨励賞 荒井麻那香さん
 奨励賞 日向 楓花さん



【お願い】 新型コロナウイルス感染症について、万が一、お子様や同居家族が感染したり、濃厚接触者になった場合は、学校にご連絡ください。(個人情報には十分、配慮いたします)。



【募集】 先月号でもお伝えいたしましたが、富良野西中学校では、「特別支援教育支援員」1名を募集しています。ご質問やお問い合わせ等があれば、お手数をお掛けいたしますが、富良野西中学校 教頭(学校 TEL: 22-2318)までご連絡ください。

定期的な換気のため、校内が冷えるときがあります。
 暖かい服装等で、来年も体調管理をお願いします!

※12/29～1/3 学校閉庁日	13日(水) スキー授業(1-1,1-2) PTA役員会	27日(水) 定時退勤日
8日(金) 職員会議 学年会議	18日(月) スキー授業(2-1,2-2)	28日(木) スキー授業(1-2,1-3)
分掌会議 校内研修	20日(水) 学年末テスト①(3年)	29日(金) スキー授業(2-2,2-3)
全道中体連スキー(～10日)	21日(木) 学年末テスト②(3年) 常任委員会	
11日(月) 成人の日	22日(金) スキー授業(1-3,1-1)	
12日(火) 3学期始業式 表彰集会	25日(月) スキー授業(2-3,2-1)	

コロナ禍の中、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解・ご支援をいただき誠にありがとうございました。来年もどうぞ、よろしく願いいたします。